

活況を祈願 初市式と子牛初競り

令和6年1月10日(水)～1月11日(木) 県南家畜市場
令和6年1月17日(水)～1月19日(金) 中央家畜市場



新春恒例である子牛の初市式と初競りが、県内2箇所/JA全農いわて家畜市場で行われました。初日となる10日は、奥州市のJA全農いわて県南家畜市場で、初競りに先立ち1年間の活況を祈願する初市式が開催されました。菊池哲岩手県副知事やJA関係者らが出席し、主催者を代表して、本会高橋司県本部長が「社会情勢も畜産業も厳しい環境だが、前を向いて明るい兆しを見つけられるよう、ご協力よろしくお願ひします」と挨拶しました。続いて、鏡開きと国産牛乳を使用したミルクティーによる乾杯で1年の始まりを祝いました。また、種雄牛造成功労賞授与式も行われ、「美津貴」号生産者の佐藤洋貴さんが表彰されました。

その後に行われた初競りには、JA岩手ふるさと、JA江刺、JAおおふなどから206頭が上場し、最高値は110万2,200円(税込)で、平均価格は1頭あたり54万479円(税込)となりました。本会畜産酪農部高橋健一次長は「飼料高騰などで、市場価格は低迷が続いている。生産コストの低減と消費者に再生産可能な適正価格の理解を求めることで、引き続き良い牛づくりを目指していきたい」と話しました。



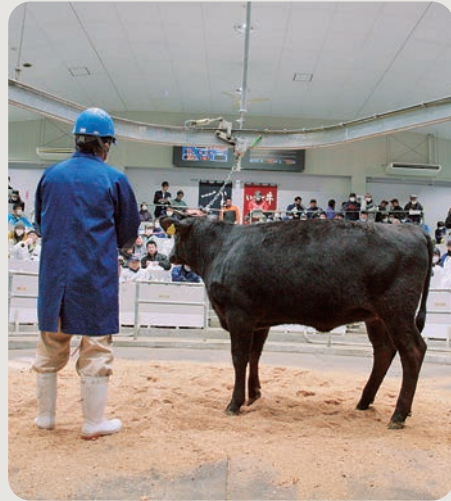
岩手ふるさと農協の後藤元夫会長の挨拶で乾杯しました



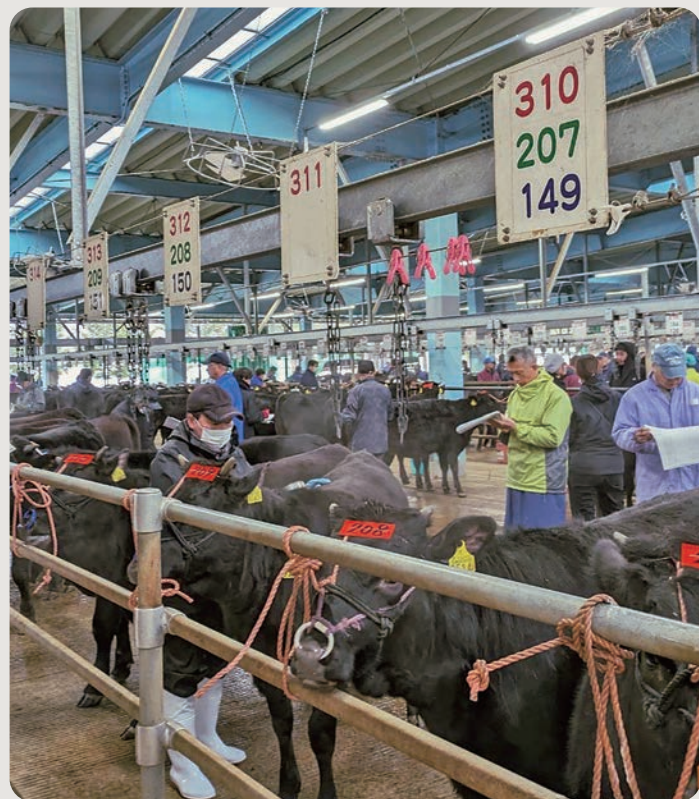
挨拶をする高橋県本部長



功労賞を受賞した「美津貴」号生産者の佐藤洋貴さん



初競りの様子



上場された牛たち



1年間の活況を祈願して鏡開きが行われました

全国への出荷本格化に向け

令和5年12月7日(木)

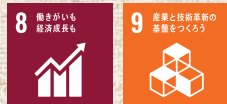
「冬恋」トップセールス

岩手県内のりんご生産者有志らによる「岩手冬恋研究会」は12月7日、東京都の大田市場内「東京青果」で、岩手県産りんご「冬恋」のトップセールスを開催しました。初競りも行われ、最高等級の特秀(プレミアム冬恋)に1ケース(7玉入)3万円の値が付けられました。

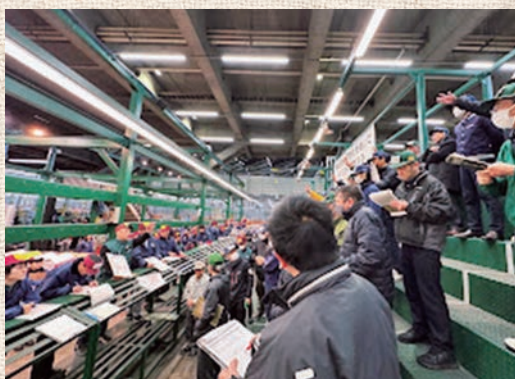
「冬恋」は、岩手生まれのりんご品種「はるか」のうち、糖度や蜜入りなどの高い基準を満たしたものが選ばれるブランドりんごで、今回のトップセールスは、岩手県産りんごを代表するプレミアム商品としての評価の定着を図ることを目的に行われました。

集まった大勢の市場関係者を前に、岩手冬恋研究会の熊谷峰男会長は「今年は春先の霜の影響でりんごの花のめしべが枯死するなどの被害を受け、非常に厳しい一年となった。しかし諦めずに岩手冬恋研究会の生産者が一丸となってはるかを育て、出荷までたどり着いた。これまで以上にご愛顧いただきたい」と力強く表明しました。

その後に行われた初競りも活気に溢れ、熊谷会長は「こうしたトップセールスなどを通じて、冬恋に興味を持ってもらえる機会を今後もつくっていききたい。冬恋が高く評価され、生産者を少しでも元気にすることが一番の願い」と想いを語りました。



買参人にサンプルの冬恋を渡す熊谷会長



初競りも活気にあふれた

高品質な花き生産を讃える

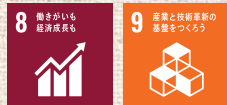
令和5年12月8日(金)

「いわてフラワーコンテスト2023」表彰式

本会は12月8日、花巻市のJAいわて花巻総合営農指導拠点センターで令和5年度「いわて花き生産者のつどい」を開き、第1部で「いわてフラワーコンテスト2023」表彰式を行いました。同コンテストは、岩手県内の花き生産者の栽培技術向上を目的に毎年実施され、今年で42回目を迎えます。今年合計115点が出品され、9月に審査と一般公開・販売が行われました。

表彰式には、県内の花き生産者や関係団体、JA職員など約80名が出席し、りんどう「安代の秋」で最優秀賞および農林水産大臣賞を受賞したJA新いわて(八幡平)阿部浩之さん、優秀賞に選ばれたりんどうや小菊の生産者らが表彰を受けました。

今年は、7月下旬から9月中旬にかけて記録的な高温が続き、夏季冷涼な気象条件を活かした本県の花き生産にとっては極めて厳しい栽培環境となりました。審査委員長を務めた岩手県農業研究センター園芸技術研究部の菊池真奈美部長は、コンテストの総評として「今までに経験したことがない気象条件であったにも関わらず、全体として素晴らしい出来栄だった」と生産者をねぎらう言葉を贈りました。



賞状を受け取る最優秀賞の阿部浩之さん



「いわて花き生産者のつどい」に集まった県内の生産者ら

「高校牛児」が育てた牛、全国へ

令和6年1月18日(木)～19日(金)

第7回和牛甲子園

JA全農は1月18日と19日の2日間、東京都中央卸売市場食肉市場および品川グランドホールで第7回和牛甲子園を開催しました。

和牛甲子園は、和牛を飼育する全国の農業高校の生徒、高校球児ならぬ「高校牛児」たちの育てた和牛の肉質と、飼育に関する日頃の取り組み内容を競う大会です。

今年度の大会は、史上最多の25道府県41校59頭がエントリーし、岩手県からは盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校の3校が出場しました。



和牛飼養管理研修会

令和5年12月14日(木)

本会は、12月14日に岩手県立盛岡農業高校動物科学科の3年生を対象に、和牛甲子園に向けた和牛の飼養管理についての研修会を実施しました。

この研修会は、岩手県内の和牛甲子園参加高校に、食育の一環として飼養技術の向上および畜産業への興味関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

研修では本会の職員が和牛の飼養管理や体の構造、子牛の見方について説明をした後、牛舎にて実際の飼養管理や牛を見て触れて子牛と成牛の体の特徴について授業を行いました。参加した生徒は「子牛と成牛の体の構造の違いを理解することができた。大会まで残り1か月、教わったことを活かし事故のないように注意していきたい」と意気込みを語りました。

本会は当研修会の一環として、(株)いわちくで和牛甲子園参加校の生徒に牛肉の流通や牛枝肉の見方についての研修も行っています。



牛舎での授業の様子



入賞を目指して記念撮影

和牛甲子園出場牛出発式

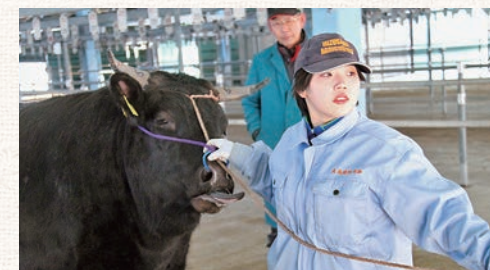
令和6年1月16日(火)

本会は1月16日、JA全農いわて県南家畜市場で和牛甲子園の出発式を開催しました。

出発式は、将来の担い手候補である高校生の就農意欲の向上と日本各地で同じ志を持つ高校生同士のネットワークを創出し、意欲と技術の向上を図ることを目的に本会が毎年開催しており、各校の生徒や教諭など関係者およそ30名が参加しました。

水沢農業高校の高橋帆乃伽さん(3年)は「肉質評価部門最優秀賞を目標に、常に牛の気持ちを考え全力で向き合い仕上げてきた。2年間育ててきた牛と離れるのは寂しいが、和牛甲子園を最高の思い出にしたい」と意気込みを語りました。

出品牛6頭がトラックに積み込まれ、開催地である東京へと出発すると、生徒たちは手塩にかけて育てた牛を、思い思いに見送りました。



自分たちが育てた牛をトラックに積み込みました



出場校の生徒たち



よこまち

南部ピュアポーク販売促進活動

10月22日(日)によこまち様が店舗を展開する青森県内の5店舗で「南部ピュアポークまつり」を開催しました。



とりせん 八幡平もち豚販促活動

12月2日(土)にとりせん様が店舗を展開する群馬・栃木両県内の2店舗で「八幡平もち豚フェア」を開催しました。



(2) PR活動について

いわて純情豚PR活動(豚経連)

9月16日(土)と17日(日)の2日間、ツガワ未来館アピオ(岩手産業文化センター)で「IBCまつり2023」が開催されました。本会が事務局を務める岩手県農協養豚経営者連絡協議会として、生産者や関係者総勢32名が参加し、いわて純情豚のPRと消費拡大を目的に、無料試食会といわて純情豚を使用したお弁当販売を実施しました。



(3) 食育活動について

養豚理解醸成活動(豚経連)

11月14日(火)にJAいわて中央畜産部会養豚専門部会が実施主体となり、紫波町・いわちく・JA全農いわて畜産統括課が協賛して、出前授業を行いました。授業では、JAいわて中央の職員と同専門部会長の七木田一也氏(岩手県農協養豚経営者連絡協議会副会長)が講師を務め、豚に関するクイズや飼料の実物を用いて養豚について紹介しました。また、同専門部会から紫波町内の小・中学校へ豚肉2頭分が無償提供され、学校給食で「しわ豚と大根の黒砂糖煮」として振舞われました。給食を食べた児童たちは、「すごくおいしいです!豚肉が柔らかい」と笑顔で七木田部会長に感想を話しました。



3. おわりに

本会は、これからも県内の生産者の皆様が丹精込めて育てた健康で元気な豚を、さらに多くの消費者の皆様へお届けするため、引き続き販売促進活動・PR活動・食育活動に取り組んでいきます。



まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

INTRODUCTION

畜産酪農部

畜産統括課の取り組み

1. はじめに

本会では、岩手県産豚肉の認知度向上・消費拡大等を目的として、岩手県産銘柄豚の販売促進活動、PR活動、食育活動に取り組んでいます。コロナ禍においては、そうした活動自体の自粛や、実施する場合でも感染症対策をしなければならないなどの制限があったため、直接消費者の皆様へ県産銘柄豚の魅力伝える機会が減少していました。しかし、今年度に入り、県内外のスーパー・量販店等における販売促進活動や各種イベントが徐々に再開してきています。今回は、今年度において実施した販売促進活動、PR活動および食育活動について紹介します。

2. 令和5年度における販売促進活動・PR活動・食育活動

(1) 販売促進活動について

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことを受けて、各地で販売促進活動を活発におこない、県産銘柄豚のPRと消費拡大を目的として、試食販売や県産銘柄豚購買者対象のスピードくじ抽選会を実施しました。販売促進会はいずれも大盛況で、活動に参加した生産者や関係者は、消費者の反応を直接感じることができ、とても有意義な活動になりました。



いなげや 美味豚販売促進活動

6月24日(土)にいなげや様が店舗を展開する東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県の10店舗で「東北産美味豚生産者応援フェア」を開催しました。



ユーコープ 茶美豚の試食&ユーコープ組合員加入促進活動

10月7日(土)にユーコープ様が神奈川県川崎マリエンで「川崎みなと祭り」へ出展しました。



オオゼキ 岩手県産純情豚販促活動

10月19日(木)にオオゼキ様が店舗を展開する東京都内の4店舗で「岩手県産純情豚フェア」を開催しました。





いわて純情むすめ
料理体験記
orders 2

寒い日に食べたい! フランス・アルプス山麓の郷土料理
しいたけとじゃがいもの
タルトフレット

材料(2人分)

- しいたけ…100g
- じゃがいも…2個
- カマンベールチーズ…1個(約100g)
- 玉ねぎ…1/2個
- ベーコン…100g
- にんにく…1かけ
- オリーブオイル…少々
- 白ワイン…50cc
- 生クリーム…50cc
- 塩・こしょう…少々
- パセリ…少々

作り方

- ①流水で洗ったじゃがいもを1cm位の厚さにスライスし、耐熱容器に入れて電子レンジで加熱する。
- ②火が通ったら(竹串がスッと通るくらい)、熱いうちに軽く塩をして置いておく。
- ③オーブンをグラタンモードの余熱で温めておく。
- ④カマンベールチーズは1/8にカット、しいたけは1/4にカット、玉ねぎとベーコンは5mm厚さにカット、にんにくは芽を取ってスライスする。
- ⑤フライパンにオリーブオイル、にんにく、玉ねぎ、ベーコンを入れて炒める。
- ⑥玉ねぎがしんなりしてきたら、しいたけを加えて軽く炒める。ここに白ワインを入れ、軽く煮詰めてアルコール分を飛ばしたら、生クリームを加え、塩・こしょうで味を調える。
- ⑦耐熱容器に②のじゃがいもと⑥を入れ、その上にカットしたカマンベールチーズを載せてパセリを振る。これを温めておいたオーブンに入れる。
- ⑧表面に美味しそうな焼き色が付いたら、完成!



いわて純情むすめ「初めての料理体験!」感想

- 最初、料理名を聞いたとき「難しそうだな…」と思いましたが、実際に調理してみたら、思いのほか簡単で作りやすかったです。(阿部)
- ジャガイモを茹でるのではなく、電子レンジで加熱する…。これは目からウロコでした。茹でるより手軽で、栄養も損なわれないでしょうし、何より時短になる! 嬉しい発見でした。(岩槻)
- 調理中、フライパンに入れたニンニクの香りに刺激されて“早く食べたい!”って思っちゃいました。(阿部)
- 出来上がった料理を食べた最初の感想は“なんて美味しい!”。想像していたより、ず〜っと美味しかったです。友だちに作ったら、「オッ!」と言われそう…。(岩槻)

- 椎茸とチーズと一緒に料理したものを食べたことがなかった(そのイメージがなかった)ので、食べてみるまで味の見当が全くつかなかったのですが、口に入れた途端、チーズのまろやかさが椎茸と抜群の相性だと感じました。椎茸から出る“旨み”も味に作用しているのかな。(阿部)

料理監修 オーナー/佐々木朋美



紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199
くるみアパートメント1F TEL 019-681-7337
Mail tom1123tom@icloud.com
https://tom-creperie-deli.com



JAおおふなと×みのるダイニング
コラボフェア

1/13(土)~2/12(月・祝)

盛岡駅ビルフェザン内にある「純情産地いわての店みのるダイニング」では、JAおおふなと管内で生産された、しいたけ、トマト、いちご、気仙小枝柿、ありすぼ〜く、みちのく清流味わいどりをご提供します。



ありすぼ〜くのローストポーク丼
1,320円(税込)



いわて純純しいたけハンバーグ
1,749円(税込)



みちのく清流味わいどりのレモンステーキ
1,639円(税込)



気仙小枝柿バター
369円(税込)

チャンピオン牛フェア
2/9(金)~2/29(木)

1月23日(火)に開催された「第34回いわて牛枝肉共励会」において最優秀賞に輝いた「チャンピオン牛」を堪能できるフェアを「純情産地いわての店みのるダイニング」で実施します。年に一度きり、極上のチャンピオン牛をこの機会にぜひご賞味ください。
※なくなり次第終了となります。

- チャンピオン牛ステーキ膳 4,730円(税込)
- チャンピオン牛特別ステーキ膳 6,050円(税込)



※写真はイメージです



畜産酪農部
家畜市場課
なかばやしりょうすけ
中林 亮介さん

◎趣味・特技

趣味はボルダリングです。大学の時に初めました。今も休みの日などに時間を見つけて登りに行っています。最近はボルダリングの後にサウナに行くようになって、サウナも趣味になってきました。

◎現在の担当業務

市場の日には主に購買者の方の受付や清算などを行っています。また、時々外に出て、牛の移動やトラックへの積み込みなど市場の運営に関わる様々な業務を行っています。市場のない日には市場で購買していただいた代金の請求や、市場の準備などを行っています。

◎これからどんな職員になってみたいか

たくさん知識を身に付けて、生産者の方々に頼っていただけるような職員になりたいです。今はまだ生産者の方などに何かを質問されても答えられないことが多く、勉強不足だと実感しています。これからも、たくさん経験と知識を身に付けて色々な質問に答えられるような頼っていただける職員になりたいです。また、配属直後に所属長からいただいた「元氣な挨拶をしましょう」というお言葉を忘れずに、日々業務に取り組んでいきたいと思っています。

◎その他アピールポイント

お肉が大好きです。

JA全農いわての 純情人

じゅん じょう びと

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート

農業労働力確保支援の 取り組みについて



営農支援部
営農支援課
遊田 善幸

現在、少子・高齢化等により、あらゆる業態において労働力不足が問題となっています。

農業においても同様で、生産現場やJA施設の運営においても労働力が不足しています。JAの職業紹介所やハローワーク、派遣会社への求人をおこなっているものの、なかなか希望どおりに集まらない状況であることから、全農本所は令和3年、国内最大手の旅

行代理店である㈱JTBと包括連携協定を締結し、同社の取引先や関係先、同社利用の消費者といった幅広い層に農作業請負を提案・募集する「全農スキーム」を立ち上げました。この事業を通じて、農業労働力の確保支援とともに、地域貢献や農業への関係人口を増やすことを目指しています。

本県ではJAいわて平泉の水稲育苗センターや東山ライスセンターでの作業、JA江刺のりんご選果場での作業で、この「全農スキーム」をご活用いただき、令和5年度は延べ7名（令和5年4～9月末）の労働力支援を実施しています。

さらに令和5年10月、当県本部は㈱タイムミーと業務提携契

約を締結し、生産者やJAへ「タイムミー」のサイトを活用した農業労働力確保を提案・推進することとしました。

「タイムミー」はスマホやタブレットの操作により最短当日の募集が可能であり、日々変化する天候や生育に合わ

せた募集も可能です。また、雇い主、働き手の双方の合意があれば直接雇用への切り替えも可能となっています。

必ずしも労働力を確保できるという手段ではありませんが、様々な求人活動を展開することで求職者の目に留まること・選択肢のひとつに加わることが採用機会を拡大させると考えますので、今後もJAとともに労働力確保支援に取り組んでまいります。

Timee × JA全農いわて

タイムミーなら、欲しい時間の働き手がすぐ見つかる！

スキマバイト募集サービス
累計導入社数
No.1

01 600万人を超えるワーカーが登録
たくさんのワーカーが登録しており、高いマッチング率を誇ります。前日や当日の求人掲載でも、人手を確保できた事例が豊富です。

02 ワーカーの80%以上が10代~40代！
スマートフォンアプリで提供しているサービスのため、ワーカーのほとんどを比較的若い年代が占めています。

03 引き抜き自由！長期の人手不足にも！
短期の労働力不足の解消はもちろん、タイムミーは「引き抜き自由」！有望な人材を引き抜くことで、長期的な人手不足の解消にも貢献します。

タイムミーは、働きたい時間と働いて欲しい時間をマッチングするスキマバイト募集サービスです。天候や農業期にあわせてすぐに働き手を呼べるので、全国各地の農家さんにご利用いただいています。

求人掲載費用0円！引き抜きも自由！

初期費用	0円	☑ 求人掲載費用0円！
求人掲載料	0円	☑ 人材紹介料ナシ！
運用支援費用	0円	☑ 引き抜き無料！
システム手数料	交通費を含む日当報酬の30%	交通費を含む日当報酬の30%が手数料として発生しますが、求人掲載費用や紹介料など、それ以外の費用は一切かかりません。（振込関係手数料のみ、ご負担をお願いします。）また、長期採用を希望するワーカーを引き抜いた場合も、タイムミーへの報告義務や費用は発生しません。
振込関係手数料	1人あたり220円	

お仕事事例

収穫 / 摘み取り / 草取り / 雪かき / 包装 / 梱包 / 仕分け / エサやり
清掃 / 摘果 / 出荷 / 水やり / 選定 / 運搬 / 片付け / 袋詰め その他多数

Timee × JA全農いわて 無料のアカウント開設はこちら



いわて純情セレクト

「純情産地いわて」から、選りすぐりの農畜産物を販売しています。オススメ商品盛りたくさん！詳しくはこちらから▶▶▶

<https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/>



旬 いちごフェア

先着クーポン300円分を
1,000名様にプレゼント！

2/13
まで

【キャンペーン概要】

先着500名様にいちごカテゴリ商品ご購入の際に使えるJAタウンクーポン（300円）をプレゼントいたします。

※予定枚数無くなり次第終了。会員様限定1回まで

「いわて純情セレクト」では、JAいわて平泉産「やよいひめ」、「さちのか」を販売中です！

岩手県一関市は歴史あるいちご産地で、純情な生産者がひたむきにいちごを栽培しています。特に収穫時期にこだわりを持ち、完熟間際まで収穫せず、最後まで実に栄養を与えることで味をのせる栽培方法をとっています。

完熟に近いため長期保存が難しく、JAいわて平泉のいちごは県内市場のみに流通している希少品種です。是非ご賞味ください。

JAいわて平泉産
「やよいひめ」いちご
280g×2パック

- 他のいちごにはない上品な赤色と大粒でしっかりとした果肉
- 甘みが強くさっぱり



JAいわて平泉産
「さちのか」いちご
280g×2パック

- 甘味と酸味の絶妙なバランス



●販売価格 ￥3,700(税込) ●販売期間：2024/01/11 ~ 2024/02/29 ●発送時期：2月中旬より順次発送予定

Instagram X (旧Twitter)

「わたしのオススメ!」

#いわて牛

投稿キャンペーン!

キャンペーン期間
12/22日～
2024
2/29日
まで

いわて牛取扱店(スーパー、飲食店等)で
購入した商品の写真に、

#飲食先
#購入店舗名
#料理名

#いわて牛 &

InstagramまたはX(旧Twitter)へ
ハッシュタグをつけて投稿!

抽選で50名様に豪華プレゼントが当たる!

<p>最上位賞</p> <p>5名様</p> <p>いわて牛に対する熱い 思いが込められた投稿から選抜!</p> <p>いわて牛 サーロイン ステーキ用 (1kg)</p> 	<p>投稿賞</p> <p>20名様</p> <p>いわて牛 焼き肉用 (500g)</p> 	<p>ありがとう賞</p> <p>25名様</p> <p>いわて牛 ぬいぐるみ</p> 
--	---	---

※プレゼントの画像は全てイメージです。

応募方法

STEP 1 いわて牛取扱店(スーパー、飲食店等)でいわて牛商品を購入後、写真を撮影します。

STEP 2 ハッシュタグ「#いわて牛」と「#購入店舗名または料理名」をつけてInstagramかX(旧Twitter)へ投稿してください。

STEP 3 投稿された方の中から抽選で**合計50名様にプレゼント!**

プレゼント当選者のお知らせ / DMまたはコメントでお知らせ / DMまたはプライでお知らせ

当選者は「当選のお知らせ」に記載された指定のアドレスに配送先をご連絡ください。賞品の発送はキャンペーン終了後の翌月、2024年3月中旬ごろを予定しています。

■応募資格: Instagram、X(旧Twitter)の投稿を「公開」設定にしている方。日本国内にお住まいで、且つ、商品のお届け先が日本国内の方。
 ■注意事項: キャンペーン応募に制限はありません。複数回応募可能です。キャンペーンにご応募いただいた方の投稿をご紹介させていただく場合もあります。
 ■個人情報の取り扱い: ご共有いただいた個人情報は本キャンペーン当選者への賞品発送、それに伴うご連絡のみに使用いたします。

キャンペーンに関するお問い合わせ先
 SNS投稿キャンペーン事務局 (JA全農いわて畜産販売課内)
 TEL.019-672-4313 (受付時間: 平日10:00-17:00)

いわて牛普及推進協議会 / JA全農いわて

編集後記

初市式の取材では、活気あふれる子牛の初競りの様子を見ることができました。子牛でも十分な迫力があり、なんだか自分が小さく感じたので、お正月で5kg太ったことなんて気にせず、いわて牛を食べに行こうと思いました…! (西川)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、 에스ぺ란토語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかになるという願いが込められています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

